

# 令和5年度 創造的イルミネーション事業概要

## 1 事業目的

クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会では、世界から選ばれる夜の観光コンテンツの創出を目指し、横浜ならではの景観を生かして都心臨海部の街を光と音楽でダイナミックに演出する「創造的イルミネーション」に官民一体で取り組んでいます。国内外から観光客を誘客し、街の回遊性を高めることで、にぎわいの創出とナイトタイムエコノミーの活性化につなげます。

## 2 事業の目標

### (1) 達成目標（事業全体で達成する目標）

横浜の特徴である港や美しい水際線、歴史的建造物などの地域文化資源を際立たせ、「文化芸術創造都市・横浜」ならではの創造的なイルミネーションを実施することにより、次の3つの目標達成を目指します。

- ① 日常とは異なる街全体の光と音楽の演出により、横浜の夜景の魅力をさらに向上させる。
- ② 来街者や国内外の観光客を増やし、人と様々な文化が交流する場を創出する。
- ③ 都心臨海部のにぎわいを創出し、ナイトタイムエコノミーの活性化を図る。

### (2) 令和5年度の重点的な取組

目標達成に向け、令和5年度は次の5点を重点的に実施します。

- ① 時間限定の演出の内容充実と、メインビューポイントの大きな橋への集客強化
- ② 地域組織との連携を強化した演出の実施
- ③ イベントを契機とした街での回遊・消費の更なる促進
- ④ 地元アーティスト・クリエイターとの連携
- ⑤ 脱炭素やSDGsに配慮した、子供も楽しめる体験型の取組

### (3) KPI（評価指標）

目標に対するKPIは次のとおりとします。

- ① イベント来場者数 230万人以上（昨年度実績：228万人）
- ② 外国人来場者数 23,000人以上（昨年度実績：22,850人）
- ③ 横浜市内への経済波及効果 174億円以上（昨年度実績：173億6000万円）
- ④ 来場者アンケート回答者のイベント満足度 98%以上（昨年度実績：98%）

## 3 イベント概要

### (1) 開催期間

令和5年11月27日（月）～令和6年1月4日（木）（39日間） 17時～21時05分

※12月31日（日）は年越しに伴い、24時05分まで延長して実施予定

※12月2日及び9日に開催予定のMusic Harbor（令和4年度名称）の際は、イベントに合わせて24時まで新港中央広場の光と音楽の演出は継続する。

## (2) 開催場所

横浜都心臨海部

メインビューポイント:横浜港大さん橋国際客船ターミナル屋上デッキ(中区海岸通 1-1-4)

場所限定の演出:新港中央広場(中区新港 1-5)、山下公園(中区山下町 279)

## (3) 名称

「Creative Light Yokohama (仮称)」

イベント全体の名称および各コンテンツの名称は、受託者決定後、実行委員会と協議の上決定します。

【参考】イベント全体の名称

令和元年度:「NIGHT SYNC YOKOHAMA」 令和2～4年度:「ヨルノヨ」

## (4) ターゲット

下記を主なターゲットとし、幅広い層が訪れ、楽しめるイベントを目指します。

メインターゲット 首都圏の若年層(20代～30代)

サブターゲット 首都圏以外の観光客

## (5) 実施内容

### ①時間限定の演出～街を演出する特別な時間～(都心臨海部各施設)

港の水際線や歴史的建造物、オフィスビルなど、街全体が光と音楽で躍動する5分間のイルミネーションショーを時間限定で実施します。

(参考:令和4年度演出(神奈川県ドローン協会より) URL:<https://youtu.be/NDvvU3pCoKQ>)

【楽曲数】2曲(1曲は新規、もう1曲は既存曲を利用し2曲で演出予定)

【演出時間】30分ごとに5分間程度(17時30分開始、21時05分最終)(予定)

【メインビューポイント】横浜港大さん橋国際客船ターミナル屋上デッキ

【光の演出対象施設】横浜ランドマークタワー、大観覧車コスモクロック21、横浜市庁舎など、計36施設(予定)

### ②公園等の演出～まちなかできらめく特別な場所～(新港中央広場・山下公園)

新港中央広場および山下公園において、期間中に常時楽しめる、横浜らしい光と音による空間演出を行い、イベント全体への集客向上、街の回遊性向上につなげます。

なお、山下公園エリアについては地域が主体となって実施します。(図1参照)

### ③光のオブジェ・スピーカーの制作・設置(都心臨海部各所)

時間限定の演出時にビューポイント付近で音楽が聞けるように、横浜港大さん橋国際客船ターミナル屋上デッキとその他のビューポイント(図2参照)に、当事業のアイコンとなるような光のオブジェとスピーカーを設置します(6か所程度を想定)。街なかで演出を楽しむ仕掛けをすることで、回遊性向上につなげます。

【メインビューポイント】横浜港大さん橋国際客船ターミナル屋上デッキ

【その他のビューポイント（想定）】臨港パーク、横浜ハンマーヘッドクレーン周辺、汽  
道、象の鼻パーク、山下公園

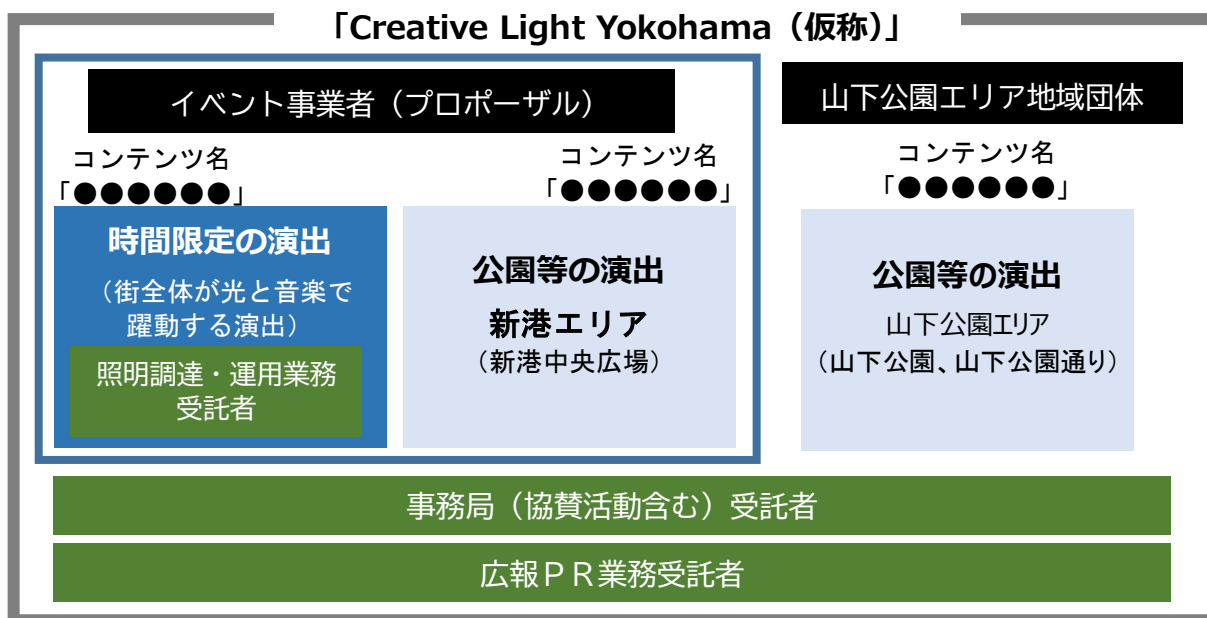
④地域のアーティスト・クリエイターによる「アートプログラム」(都心臨海部各所、期間限定)

横浜市芸術文化振興財団や東京藝術大学大学院映像研究科などと連携し、港町らしい雰  
囲気を感じられる場所で、美術や映像、演劇、路上装飾を無料で鑑賞、体験できるプログラム  
を展開します。

⑤ 街の回遊促進キャンペーン「ハマぶらりー」(広報 PR 事業)

横浜駅周辺、みなとみらい、元町・中華街など地域主体で行われているイルミネーション  
と会場を巡るデジタルスタンプラリーなど、地域とともに回遊を促進します。

【図 1】 創造的イルミネーション事業 全体の構成



【図 2】 ビューポイント等会場周辺の配置図

